

2次案内

第26回

令和5年度

世田谷算数授業討論会

東京学芸大学附属世田谷小学校

【今回の授業討論テーマ】

円周率の導入指導

日 時 令和6年 2月10日（土曜日） 受付 12:30～13:00

内 容

第5学年における同じ単元の同じ時間の2つの授業を行い、2人の授業者による討論を通して、算数教育の専門性を高める授業研究会です。

●公開授業（Ⅰ） 5年2組 授業者 本校 難波 怜央 教諭

●公開授業（Ⅱ） 5年1組 授業者 府中市立府中第五小学校 教諭
榎本 直人 先生

●講師 東京学芸大学 教授 中村 光一 先生

場 所 東京学芸大学附属世田谷小学校 集会室
〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-10-1 03 (5706) 2131

時 間 13:00 ～ 17:00

資 料 代 1000円 ※ 当日、現金でお願いいたします。
本校 HP から事前申し込みをお願いいたします。



主 催

東京学芸大学附属世田谷小学校 算数部

1. 当日の日程

受付	提案	授業 (I)	授業 (II)	授業討論会	指導・助言	
		難波 怜央	榎本直人 先生	難波 怜央 榎本直人 先生	中村 光一 先生	
12:30	13:00	13:20 13:30	14:15 14:30	15:15 15:30	16:15 16:25	17:00

2. 授業討論テーマについて

「円周率の導入指導」

「円周率は、3.14 でしょ！」なんて、単元を始める前から既に円周率という言葉や数値を知っている子どもたちがいます。学習前から「直径×3.14」「半径×半径×3.14」という公式を言える子も、少なくないかもしれません。どの子どもたちにも、円周率というものが何なのか、何のために学ぶ必要があるものなのか、それを知ってどんないいことがあるのかまで含めて、よりよく学ばれるように指導したいものです。

そのためには、教師が「円周の長さは直径の長さの何倍ですか」と問うて、子どもがその答えを探す授業では、既に円周率を知っている子にとってはつまらないかもしれません。算数の教科書には、そのための手立てや工夫が各社紙面上に様々表現されています。実際、円周率をどのように導入すれば、子どもたちが主体的・協働的に円周率の理解を深めていくことになるのでしょうか。

そこで、今年度の世田谷算数授業討論会では、円周率の導入指導に焦点を当てて第5学年の2クラスの児童を対象に、お二人の先生がそれぞれ異なる授業を立案、実践されます。同じ学年の同じ単元の同じ時間の2つの授業を観くらべ、その後の授業者同士の討論を聞いてともに議論することで、授業討論テーマに迫ることを目指します。

3. 公開授業

公開授業 (I) 難波 怜央 教諭

逐次近似 (極限) の考えによる導入 ～ 円筒万華鏡づくり ～

公開授業 (II) 榎本 直人 教諭

関数の考えによる導入 ～ 2種類のウォーキングメジャー ～

4. その他

- ・ご参加の際には、マスクの着用をお願いいたします。